

令和2年度事業別報告書

1 総務

(1) 法人運営

① 一般会員・賛助会員の加入状況

自治会、福祉委員と連携をとって一般会員、賛助会員の加入促進を行った。

なお、賛助会費に関しては、新型コロナウイルス感染症が事業に影響し、今年度は会費支払いが難しい事業所には申し出てもらい、訪問はしないこととした。

一般会費 200円

賛助会費 1,000円

種別		令和元年度	令和2年度	対前年度比
一般会費	世帯	6,380世帯	6,461世帯	81世帯
賛助会費	企業・個人	1,415口	1,385口	△30口

② 事務局体制の整備

- ・朝礼を毎日行い、職員間の情報共有と業務連携を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応するため、職員の健康管理に努め、毎朝、体調管理シートでの報告を求めた。
- ・担当業務に関する研修に出席することにより、知識や意識の向上に努めた。

③ 会務の運営

理事会・評議員会の開催

理事会 年2回開催 書面決議1回 評議員会 年2回開催 書面決議1回

○令和2年5月26日提案議事に関する理事会 書面議決

第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について

第2号議案 評議員候補者の推薦について

第3号議案 役員の推薦について

第4号議案 評議員選任・解任委員会の開催について

第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について

第6号議案 評議員会について

○令和2年6月3日提案議事に関する評議員会 書面議決

第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について

第2号議案 役員の選任について

○第47回理事会 令和2年7月22日 小豆島町役場本館 大会議室

第1号議案 令和2年度第1次収支補正予算について

第2号議案 会員規程の一部改正について

- 第3号議案 臨時・嘱託、パートタイマー就業規程の一部改正について
- 第4号議案 理事候補者の選任について
- 第5号議案 評議員候補者の選任について
- 第6号議案 評議員選任・解任委員会の開催について
- 第7号議案 第33回評議員会の招集について
- 第33回評議員会 令和2年7月30日 小豆島町役場本館 大会議室
 - 第1号議案 令和2年度第1次収支補正予算について
 - 第2号議案 会員規程の一部改正について
 - 第3号議案 臨時・嘱託、パートタイマー就業規程の一部改正について
 - 第4号議案 理事の選任について
- 第48回理事会 令和3年3月15日 小豆島町役場本館 大会議室
 - 第1号議案 令和2年度第2次収支補正予算について
 - 第2号議案 令和3年度事業計画について
 - 第3号議案 令和3年度予算について
 - 第4号議案 社会福祉法人小豆島町社会福祉協議会法人後見人等実施要綱の制定について
 - 第5号議案 第34回評議員会の開催について
 - 第1号報告 会長の職務執行状況について
- 第34回評議員会 令和3年3月25日 小豆島町役場本館 大会議室
 - 第1号議案 令和2年度第2次収支補正予算について
 - 第2号議案 令和3年度事業計画について
 - 第3号議案 令和3年度予算について
 - 第4号議案 社会福祉法人小豆島町社会福祉協議会法人後見人等実施要綱の制定について

(2) 相談体制の充実強化

① 心配ごと相談所の開設

小豆島町心配ごと相談所設置規定に基づき、町民の日常生活上のあらゆる心配ごと相談に応じ、適切な助言指導を行い、福祉の向上を図った。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症防止のため、池田会場で7回、内海会場で6回開設を見合わせた。

○開設日 内海会場 毎月第2火曜日 午後1時30分～午後3時30分
池田会場 毎月第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分

○開設日数 10日

○相談員数 11名

○相談件数 15件

② 介護相談員派遣事業

小豆島町から委嘱を受けた介護相談員が、福祉サービス提供事業所へ出向き、サービスを利用する人の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業者における介護サービスの質の向上を図る事業である。しかし、

新型コロナウイルス感染症防止のため、各施設で関係者以外立入禁止措置が取られたため、事業は実施できなかった。

(3) 広報活動の推進

本社協の社会福祉を目的とする事業に関する普及、宣伝を行った。

○広報誌「ふくしだより」を年2回発行

- ・ふくしだより第29号 令和2年9月発行
- ・ふくしだより第30号 令和3年4月発行

○町広報誌「しょうどしま」による情報発信

(4) 共同募金運動に協力

小豆島町共同募金委員会の運営及び共同募金運動への支援を行った。

○募金活動期間 令和2年10月1日～令和2年12月31日

○募金実績額 5,033,573円

- ・世帯募金 4,356,800円
- ・法人募金 131,000円
- ・職域募金 242,500円
- ・募金箱 15,282円
- ・自動販売機 269,191円
- ・その他の募金 18,800円

(5) 災害時の対応

① 小豆圏域ネットワーク会議での取り組み

小規模社会福祉法人が社会福祉法で規定されている地域における公益的な取組を行うために、小豆圏域内でネットワークを構成した。この組織で災害時における福祉支援への備えを行った。

- ・BCP策定セミナー（講師:佛教大学 講師 後藤至功氏）

② 災害対応スキルの向上

香川県や香川県社協などが開催する研修に積極的に参加した。

(6) 関係団体との連携

地域福祉の増進を図るため、民生委員児童委員協議会、老人クラブの事務運営への支援を行った。

○小豆島町民生委員児童委員協議会

○小豆島町民生委員児童委員協議会池田ブロック事務運営

○小豆島町老人クラブ連合会事務運営

○内海老人クラブ事務運営

○池田老人クラブ事務運営

2 地域福祉の推進

(1) 地域福祉推進事業

地域での福祉活動に対する自治会への助成を行った。

○自治会数 32自治会

○世帯数 6,207世帯

○助成金額 1,365,540円（1世帯当たり220円）

(2) ボランティア活動・福祉教育の推進

① 地域ボランティア活動推進事業

例年、高齢者施設入居者と地域ボランティアとの交流や町内の中学生が社会福祉施設での介護等の体験学習及び高齢者との交流事業を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施することができなかった。配食見守りボランティア事業は実施した。

(3) 生活支援コーディネーター事業

日常生活上の支援が必要である高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、小豆島町から受託を受け事業を実施した。

介護予防ケアマネジメント基本調査未回答者や回答内容を精査する必要がある対象者を戸別訪問し、聞き取り調査を行うことで生活実態の把握を行った。

また、各地区サロンのリーダーを集めた会合をこまめリーダー会議と称し、内海と池田に分かれて、情報交換等を行った。加えて、小学生や一般企業、町職員等を対象に認知症サポーター養成講座とこまめ隊養成塾を開催し、認知症の方に対する関わり方やボランティアの育成活動を行った。

(4) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

香川県社会福祉協議会から委託を受け、判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障害者、精神障害者、日常生活に不安な人など自らの判断で適切にサービスの選択ができない人を対象に、福祉サービスの利用援助や手続きの代行、利用料の支払い、日常的な金銭管理などの援助を行った。

○新規利用契約者数 2件

○終了件数 3件

○3月末時点での利用者数 12名

○相談支援回数 273回

(5) 生活福祉資金貸付事業

香川県社会福祉協議会から委託事業で、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し資金貸付と必要な相談・支援により世帯の経済的自立や在宅福祉、社会参加の促進を図る事業であるが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に起因する生活困窮者への支援のための貸付事業として、

昨年3月から緊急小口資金特例貸付、4月から総合支援資金特例貸付が実施されている。小豆島町社協では担当職員2名が対応し、次のような貸し付け実績及び相談件数となっている。

○緊急小口資金	64件	12,150,000円
○総合支援資金	26件	12,255,000円
○相談件数（特例貸付以外も含む）	194件	

(6) 生活困窮者自立相談支援事業

香川県からの委託を受け、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立に向けて状況に応じた支援を行った。

なお、生活福祉資金総合支援資金特例貸付に関しては、原則、本事業による継続的な支援を受けることが要件となっているため、相談件数が増加している。また、8050問題や子供たちの貧困問題など対応が難しいケースが増えてきており、相談支援手法の習得などスキルアップが求められている。

○新規相談件数	23件
○プラン作成件数	1件

(7) 香川おもいやりネットワーク事業

社会福祉法人・施設・社会福祉協議会・民生委員児童委員がつながり、地域の課題を解決するためのネットワーク体制づくり、総合相談・支援事業、人材育成、福祉教育の推進を行った。

○相談件数	0件
○現物給付	0件
○フードバンク	5件

3 在宅福祉の推進

(1) 小地域ネットワーク事業

絆バトン、命の笛の配布事業を実施した。

絆バトンについては、サロン活動などにおいて、その活用についての推奨を行い、新たな設置につなげた。

○絆バトン設置数	延 1,921世帯（2年度 26世帯）
	延 2,699名（2年度 30名）

(2) 一人暮らし高齢者を励ます会

一人暮らし高齢者（77歳以上）を対象に在宅福祉の向上を図るため、集会所等で交流会等を行ったが、コロナウイルス感染症の拡大により、集会所が困難となり、昨年より開催会場数、参加者ともに減少している。なお、見守りも兼ねプレゼント、弁当の配布は行った。

○第1回（夏の開催）

- ・開催会場数 2会場
- ・参加者数 12名
- ・世話人 25名
- 第2回（冬の開催）
- ・開催会場数 7会場
- ・参加者数 44名
- ・世話人 49名
- ・プレゼント配布数 336個
- ・弁当配布数 118個

(3) 福祉委員活動事業

福祉委員の活動について、地区代表者会を2回開催した。

(4) 防水シート配布事業

民生委員児童委員協力を得て、在宅で寝たきりの方を対象に防水シートの配布を行った。

- ・配布人数 39名（配布枚数78枚）

(5) 障がい者配食サービス事業

在宅で食事を作ることが困難な障がい者を対象に、昼食を配達した。

- 実施日 毎週月曜日
- 利用者数 1名
- 配食数 45食
- 調理 ともえ
- 配達 社協職員

(6) 配食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者世帯に対し、栄養のバランスの取れた食事を提供するとともに、安否確認を行うことを目的とした事業で、小豆島町から事業委託されている。

- 利用者数 51名（令和3年3月末現在）
 - 月曜日 31名
 - 火曜日 22名
 - 水曜日 39名
 - 木曜日 23名
 - 金曜日 43名
- 配食数 延 6,797食

(7) 生活支援サービス事業

在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活上の援助を行うことにより、自立

した生活の継続を図るとともに、要介護状態への進行・悪化を防止することを目的とした事業であり、小豆島町地域包括支援センターのマネジメントに基づき当協議会が委託を受け、実施している。

○利用者数 35名（令和3年3月末現在）

○支援時間 延 1,676.5時間

(8) 福祉機器貸出事業

車いすの貸出を行なった。

○車いす貸出件数 12件

(9) 葬祭具貸出事業

葬儀のための祭壇の貸出を行った。

○葬祭具貸出件数 3件

・五段の祭壇 2件

・三段の祭壇 1件